

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート vol.31

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 48歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）勾坂畳店入社
逗子市商工会青年部部长・逗子葉山青年会議所理事長・逗子葉山建設組合青年部長
沼間小PTA会長・逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事

家族構成：妻と長女(大学2年)次女(中学2年)長男(小学6年)

基地対策特別委員長、予算・決算特別委員長、議会運営委員会委員長
総務常任委員長 現在 三期目 教育民生常任委員長 所属会派 市政クラブ

30年第3回定例会報告

第3回定例会が9月3日～28日に行われました。今定例会では、平成29年度逗子市一般会計、

4特別会計歳入歳出決算の認定の議案が上程され、可決（認定）されました。その他の主な議案は、平成30年度の一般会計補正予算が提出され、可決されました。主な内容は、30年8月31日をもって市立小中学校清掃業務委託契約を解除し9月1日以降の新たな契約を締結することに伴い、その予算措置、市役所前横断歩道への信号機新設に伴う道路管理者が負担すべき経費（可決）、その他、逗子市都市公園有料化の公園施設の指定管理者の指定について（可決）、逗子市立体育館の指定管理者の指定について（可決）、逗子市議会議員及び逗子市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について（可決）、逗子市手数料条例の一部改正について（可決）、逗子市国民健康保険条例の一部改正について（可決）、逗子市消防団員の任免服務等に関する条例等の一部改正について（可決）、逗子市火災予防条例の一部改正について（可決）、その他、決議案、陳情の審議がされました。

[厳しい財政状況が続く]

健全な財政運営の原則である収支の均衡及び財政構造の弾力性についての比率の推移

財務比率の推移

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成29年度	6.8%	97.7%	9.4%	0.871
平成28年度	3.9%	101.5%	10.2%	0.872
平成27年度	8.9%	96.4%	7.5%	0.864

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。一般的には3～5%が望ましいとされている。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。

一般的には70～80%が望ましいとされている。

公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

財政力指数：財政上の能力を示す指数。この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

経常収支比率は、経常一般財源等 12,411,138 千円に対し、経常的経費充当一般財源 12,154,930 千円で、97.7%（前年 101.5%）となっている。経常収支比率は、前年度と比較して 3.8 ポイント下回っていますが、依然として高い水準です。極めて硬直化した財政状況となっています。

財政対策プログラム 31年度検討方針状況

今定例会で、財政対策プログラムの31年度方針検討状況の中間報告がありました。

休止から廃止の決定になった事業

- 市民活動支援補助金交付事業
- 市民活動推進システムに係る補助金等審査委員会経費
- 社会参加・市民活動ポイント(ZEN)システム運用事業
- 交通整理員設置事業
- 親子の遊び場支援事業

その他の財政対策プログラム対象事業は、事業休止の継続、事業費縮小については継続削減等復帰する事業はひとつもありません。

交通整理員 市は廃止の方針

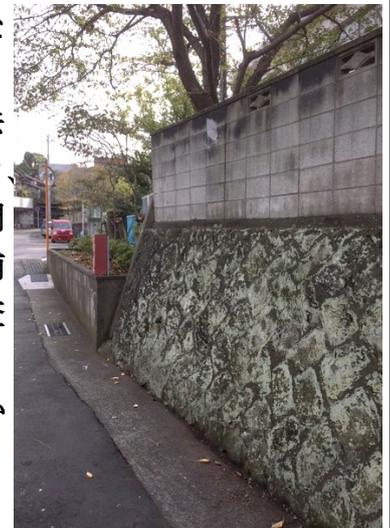
小学校の多くの保護者の方々から復活の要望があがっていた交通整理員設置事業、市が廃止の方針を決定した。8箇所中、3箇所については、信号機の設置要望等、代替手段を検討しますが、他の箇所は具体の検討もしない方針。現段階での廃止決定はあまりにも早いと考え、今定例会の一般質問で廃止しないよう求めました。

危険ブロック塀の撤去補助制度の導入を提案

大阪北部地震で、小学校のブロック塀が倒壊して児童が死亡した事故を受けて、現在、多くの自治体で、ブロック塀撤去補助制度を実施しています。大地震災害時に、ブロック塀の倒壊により、通学路の安全確保、また緊急車両等の通行の妨げにもなります。市は、市立小学校の半経約250メートル以内の通学路に、建築基準法施行令に抵触する可能性があるブロック塀の有無についての実態調査を終え、結果を取りまとめます。

沼間小学校にあるブロック塀 改修予定

本市としても、危険なブロック塀への対策として、ブロック塀撤去補助制度を設けるべきと今定例会の一般質問で提案、市長は国庫補助制度を活用し、調査結果を踏まえて、どういう制度設計が適切かを検討していくとの答弁がありました。



市長選挙 12月16日投開票

平井市長は、自治体の貯金に当たる財政調整基金が9億円に回復し、「財政の危機は脱した」と宣言しますが、財政対策プログラムによって、多くの事業が廃止、休止、縮小されています。今後、市税収入の減少、社会保障費の増額、公共施設の老朽化対策等、課題は山積しています。財政再建、財政健全化はこれからです。今後の自治体運営には、新たな発想、経営感覚が求められます。私は、実業家として長年培ってきたビジネスの経験のある、前商工会長の桐ヶ谷覚氏を応援しています。

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。